

平成20年度  
第4回社会人学び直し評価会議議事概要  
(IT技術を中心とした社会人再チャレンジ)

日時 平成21年 3月24日(火) 15:00~16:30  
場所 管理棟2階 会議室  
出席者 別紙のとおり

会議資料

- (配布資料)
- ・社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム第4回評価会議資料
  - ・平成20年度社会人の学び直し評価会議改善等事項
  - ・ニーズ調査報告書 Vol. 2
  - ・「Microsoft Word 講座」「AutoCAD 講座」募集チラシ
- (回収資料)
- ・第1回~第3回評価会議資料

その他資料

- ・「質の高い大学教育推進プログラム(通称:教育GP)」の紹介チラシ

## 1. 校長挨拶

校長から、平成20年度実施した事業内容とともに本校の学び直し事業の最終年度にあたる平成21年度事業の事業計画について忌憚の無いご意見を頂きたいという挨拶があった。

## 2. 議 事

議事に先立って、まず、本会議の議長を川辺委員とすることで了承をいただいた後、工藤委員から、資料に基づき第3回評価会議で外部委員から頂いたご意見等に対する改善等事項について説明があった。

### ・平成20年度事業実施状況

工藤委員から、資料に基づき、平成20年11月13日に開催された第3回評価会議以降実施した学び直し事業について説明があった。

それぞれの講座については講師を担当した委員等による報告が行われた。

#### 「AutoCAD 講座」

応募者の年齢分布は幅広く、女性が多かった。受講者の決定には応募動機を中心に選定したため、CADがどういうものかわからないまま応募したと思われ、選定されているのに受講しないケースがあり検討を要する。また、小島カウンセラーとの面談結果によると、受講者の反応は「面白い」「難しい」とバラつきが見られた。終了時アンケート結果から判断すると講座の時間数が足りなかったと思われる。

「AutoCAD 講座」講師、岩本委員からの報告

- 講座の中で実施図面について解説する必要が出たり、2次元CAD試験対策を取り入れたため講座時間が不足したと考えられる。
- 建築の図面に対応できなかった点や、ノートパソコンの画面の問題等、講座実施上の問題点も見つかった。

#### 「Microsoft Excel 講座(学外)」

大分市産業活性化プラザで実施の講座であり、場所等を考慮して8名で実施した。講師の織田氏にはパソコン経験が少ない受講者やサポステから紹介された受講者等の実情を踏まえき細かい配慮をしていただいた。カウンセラーの岡野氏にも、集団面接をするなどして丁寧に対応していただいた。

第二実行委員長からの報告

- 講師の織田氏から、教科書に選定していた書籍は一般的内容を網羅しており良かったとの評価をいただいた。
- 織田氏には受講者一人一人の個性を良く掴み講座を実施していたため出席率等も良い結果

であり、講座を担当する上で参考にしたい。

- 受講者との間に良好な人間関係が作られていると感じられ、主催者として良い結果を得られたと思う。

#### 「SolidWorks 講座」

AutoCAD 講座同様、選定されても受講しないケースがあり検討を要する。講座途中で正社員として就職が決定して受講を辞退したケースもあった。

「SolidWorks 講座」講師、高橋委員からの報告

- 機械製図の知識がなくても分かるようにしたつもりだったが、受講者は戸惑いが見られた。
- 覚えることが多い点など考慮するとある程度図面（製図）に関する知識が有る人を受講者としたほうが良いようだ。
- 3次元CADを色々な分野で使用したいという受講者がいた点が興味深かった。

#### 受講者に対する追跡調査

「Microsoft Word 講座」終了6ヶ月後、11名に追跡調査を実施した。講座の受講前に比べて、就業状態が改善したといえる人が5名、そのうち正規社員に採用された人が1名いた。全体として、この講座内容や修了証書・合格証が求職活動に役立ったと感じている人が多い。

#### ニーズ調査

無業者に対する調査と企業向けに対する調査を実施し、報告書をまとめた。前年度は製造業が多かったため、今回は卸・小売業やサービス業にもアンケートを多くお願いした。企業の期待するパソコンスキルには、本校で実施している、ワード、エクセル、CADを挙げるところが多いことも分かった。

### ・平成21年度事業計画

工藤委員から、資料に基づき平成21年度事業計画についての説明があった。

- 平成21年度は「Microsoft Word 講座」、「Microsoft Excel 講座」、「AutoCAD 講座」、「SolidWorks 講座」の4つの講座を実施する。
- 平成20年度の反省を踏まえ、「Microsoft Word 講座」、「Microsoft Excel 講座」については外部講師にお願いし、今年度より時間数を増やして学外で実施する。「AutoCAD 講座」、「SolidWorks 講座」については、本校で技術部職員が担当し実施する。
- 平成21年12月に学び直し講座の座談会を計画しており、講座受講後正規社員になった人や就職活動をしている人も参加していただいて開きたいと考え開催方法等について検討中である。

### ・事業へのご意見等について

石坂委員から、追跡調査の結果を見ると予想より良い結果が出ていると評価を頂いた。また、受講者を選考する上での反省点が挙げられたが、選考方法を改善する予定はあるかとの質問があった。

(回答)

応募の動機から判断するだけでは不十分との反省から、申込書にアンケートを追加することで改善を試みている。

柴北委員から、企業向けのアンケートでパソコンスキルが採用条件で有る場合が比較的多かったとあるが、単独のスキルが必要なのか、組み合わせで必要なのかとの質問があった。また、組み合わせが分かればどのような業種でどんなスキルが必要かがわかるのではないかと意見を頂いた。

(回答)

複数回答可という形で質問したので、単独か、組み合わせかは不明である。回答者はそれぞれ別と見て回答していると考えられる。また、業種による違いは現調査結果でも現れていると考えられる。

柴北委員から、講座を複数受講した例はあるかとの質問があった。

(回答)

「Microsoft Word 講座」と「Microsoft Excel 講座」,「AutoCAD 講座」と「SolidWorks 講座」のそれぞれ両方を受講した例がある。

青木委員から、SolidWorks はレベルが高いと思われるが、本当に必要か。AutoCAD の時間を増やしたほうが良いのではないか。簡単に使いこなせるのかとの質問があった。

(回答)

求人情報等から判断すると企業からの SolidWorks が使える人材の要望は多いと考えられる。学習する上で必ずしも 2 次元 C A D を学習してから 3 次元 C A D を学習するという順番をたどる必要はない。

足立委員から、中小企業の現場で起こる問題を見ていると C A D そのものの技術と共に、いかにミス無くすかという問題が大切と考えるが、ミス無くすための教育を組み込むことを考えることはできないかとの要望が出された。また、できあがりイメージせずに設計する問題点があるとの意見を頂いた。

SolidWorks にはミスのチェック機能も備わっており、金型などでの利用度が高まっているので学習の価値はある。

ミス無くすという面から考えても、図面を理解する能力を向上させる必要を感じている。

中小企業の現場技術を上げていくことは大切なことなので、学び直し事業を実施しての次のステップとして考えていきたい。

足立委員から、活性化プラザの講座にも取り入れてはどうかという示唆を頂いた。

(回答)

現場の状況をつかんだ上でどんな講座がよいのか、検討してみたい。

青木委員から、事前アンケートをとる中で、「あなたは図面は描けますか。」という質問はないのか。手書きを学んだ後に C A D で描くということではないかと思うが、図面が分からない人を教えるより効率的ではないかとの意見を頂いた。

下郡委員から、丁寧に事業を実施していて努力のあとが伺えるとの評価を頂いた。また、女性の場合パソコンスキルは絶対条件と感じている人が多く、主婦が再就職する場合は売り場などのパートでもパソコンスキルは必須で、できるだけ無料で講座を受講したいという希望が多い。女性を専門職として採用する状況に大分はまだ至っていないと思う。このようなことから、系統だった講座になっている高専の講座は受ける意義があると認識しているというご意見を頂いた。

(回答)

4月3日まで募集しているので、本当にやる気のある方を紹介してほしい。

柴北委員から、不況下で正規社員でも仕事が少なく時間があるという状況なら講座を受ける時間が取れるので、正規社員がスキルアップするための受け皿を考えて欲しいという要望を頂いた。

(回答)

就職支援が条件の事業なので「学び直し」事業としてはできないが、今後、公開講座や活性化プラザでの講座等で実施を検討してみたい。

川邊委員から、文部科学省の事業が終了した後はどう考えているかとの質問があった。

(回答)

公開講座等で経験や機材等を利用できるよう、今後検討したい。

今回の事業を3年間の基盤作りと捉え、文部科学省に限らず、地方自治体など行政の面でも協力を得られるよう、いかに継続できるかも視野に入れ、考えていきたい。

以上